

『一生懸命』幻の新座市議会報告第143弾!



たかむらともや

2017年2月28日発行

③ 予算議会

もう直ぐ3月議会が始まります。3月議会が一番大切な「予算」の議会です。この2017年という年をどういう年にするのか、これからの新座市をどういう方向にしていくのか、新市長の考えが明らかになります。「市民ファースト」であれば、予算に賛成しますが、そうでなければ、勿論反対します。市民のみなさんの税金を市民のみなさんの為に使う…当たり前のことです。

③ PTA弱者

3月議会の一般質問ではPTA弱者の問題を取り上げます。僕自身、八石小学校で4年間、毎朝登校の見守りをしたり、PTAの会長を2年間やったりしました。交通指導員さんの代打をやったり、他の人の何倍も学校に関わってきた積もりです。

その中で感じたことはPTA弱者と呼ばれる人たちが多く存在するということでした。

シングルマザーで非正規雇用の方は勿論、親の介護で大変な方、共稼ぎの方に昼間の会議が当たり前の役員になれる訳がありません。

「みんなやってきた」「前からそうだった」という理屈で「みんな平等」「駄目なら代わりを出して」という押しつけは余りにも理不尽です。

教育長は議会で、PTAは任意団体であり、強制的に入るものではないと答弁しています。しかし、実際には加入届けがなく、副教材費などの積み立てと一緒に、PTA会費を自動的に引き落としをしている学校もあるのです。PTA弱者と呼ばれる保護者が安心して「PTAには加入しません!」と意思表示出来るようにすることが重要です。

息子は今、五中の一年生ですが、PTAには加入していません。最初に赴任した学校ですので、誰よりも愛着のある学校です。五中に協力できることはいくらでもしたいと思っていますが、学校の下請け機関のようなPTAには魅力がありません。弱者に仕事を押しつけるような組織には会費を出す気持ちになれないのです。



14年間同居してきた母が介護施設に入所しました。入居して3日目。母は同じ階のお友達に優しくしてもらって、笑顔一杯でした。感謝、感謝です。③

たかやんのプロフィール



昭和29年年2月11日、港区青山生まれ。新宿区立西戸山中学校、都立石神井高校卒。北海道大3年の時に、突然教師を目指しはじめ、五中の教師になる。小学校時代のあだ名は「たか」超悪ガキで、成績も悪かった。

今のあだ名は「たかやん」(そう呼んでくださいね)

写真は五中時代の親友、角ちゃん。長女雪の担任であり、六中のテニス部を救ってくれた男でもある。

市議会では木村俊彦と「市民と語る会」を結成。他の会派とはひと味違った角度から市政を見ている。

駅立ちの師匠は「吉田よしのり」。師匠には遠く及ばないが、駅立ちを始めてから12年目に入る。

趣味はテニスと塾。現在は石神3丁目で小中学生と一緒に「たかやん塾」で日々学んでいる。大学卒業直後新設校の五中に赴任。3年生の担任になる。五中・六中・二中では21年間担任を楽しませてもらい、理・数・英・国・体を担当した。「たかやん塾」がスタートして19年、今は全教科を担当している。これがまた楽しい。最近、アドラーにはまっている。③

たかやんの応援団 で 検索



たかやんの連絡先 自宅 042-456-8869 携帯 090-6497-5737
mail:takayanchan@jcom.home.ne.jp 〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

③ アドラーの心理学



今、この2冊の本にはまっています。「アドラーの心理学」です。日記でも少しずつ紹介しているのですが、幸せになりたい……そう思う全ての人に読んで欲しい本です。特に学校で悩んでいる先生、子育てで悩んでいるお母さん、友達や親のことで悩んでいる子どもたち。上司や兄弟、姉妹の関係で悩んでいる人たちにはお勧めの本です。

駅立ちをしていると、色々な人に会います。数年前から、イライラして、朝から何かに怒っている。そういう人が多くなってきたように感じていました。そこで、僕は消極的な駅立ちをすることにしました。前のように動き回って、この「一生懸命」を渡そうとするのではなく、「いい人相」の人、「いい気」を出している人にしか渡さない作戦に出たのです。

しかも、イヤホンで英語のトレーニングをしながらの駅立ちです。ただ立っている人だけの僕に、文句をいう人は居なくなってきたと思っていました。ところが、それでも「怒り」を前面に出す人が出てきたのです。

アドラーは「怒りは出し入れ可能な道具であり、相手を屈服させる為に使う手段である」と言っています。駅での理不尽な怒りも、学校や家庭での理不尽な怒りも、結局は、相手を屈服させる為に使う手段だと言っているのです。論理的に話すことをせず、手っ取り早く相手のミスを指摘して、自分が正しいということを伝える手段……それが怒りの原点だとアドラーは言っています。普段から、怒りやすい人にも読んで欲しい本がこの2冊です。

一方で、僕の駅立ちは多くの人の笑顔や握手やハイタッチやハグを貰えます。本当にありがたいことで、毎回誰に会えるか楽しみです。寒い時期が過ぎ、駅立ちにいい季節になってきました。

③ 待機児童

先月のひばりヶ丘北口で、目の前に立った若い男性から「待機児童の親です。保育園を何とかお願いします！」と声を掛けてもらいました。この時期、FACEBOOKやツイッターでも「保育園やっぱ落ちた」「どうしてくれる！」と悲しい知らせが、僕のところにも多く寄せられています。そこで、今回の一般質問では「公立の保育園建設について」を取り上げます。

待機児童の問題は深刻です。東京都は保育士確保の為、月額44000円の補助を決めました。保育士を確保し、待機児童を無くし、市民が安心して働くことができれば、それだけ税収増も見込めるというものです。新座市は財政難ではありますが、保育園で悩む市民の為に市立保育園を建設し、保育士を確保し、待機児童をなくすべきだと思います。

選挙の公約に「待機児童の解消」を取り上げた方も多くいる筈なのですが、区画整理事業などの一つで100億以上かかる大型事業や保谷・朝霞線などの大型道路に賛成しては、保育園を作る予算はできません。それを変えて行くには市民のみなさんが、議会に興味をもって、「税金を市民ファーストで使え！」と厳しい目を向けることが大事なのです。

③ 集会所

今回の質問では集会所の問題も取り上げます。市民のみなさんの税金で建設された集会所は、市民の皆さん誰でも平等に使えるようにするのが当たり前です。現在は町内会が優先的に使用できるようになっているところが多いようです。市民のみなさんの要望に応え、全市民に平等に貸し出すべきだと提案をします。「町内会ファースト」ではなく、「市民ファースト」であるべきです。僕はPTAにも入ってませんが、町内会にも入ってません。議員としては珍しいタイプかも知れませんね。

③ 感想をお願いします！

いつも手にしてくださるだけで有り難いのですが、出来ましたら、ちょっぴりでもいいので、感想を頂けないでしょうか。「面白かったよ」「ちょっと違うんじゃない」「他の市だけど楽しみにしてる」「いつも早くから大変ね」色々な言葉をかけて貰えるだけで幸せなのですが、メールなどを頂けたら、それがまた書く力になりますのでよろしくお願いします。 たかやん ③

読み終わりましたら、お知り合いの方にさしあげてください m(_ _)m